

**Bird's eye view #11** **ダビデとアビガイルは、戦うキリストと戦う召会を予告する** **5/16-22** **サムエル記上25:1b ~44は、ダビデがナバルとアビガイルを対処したこと** **の記録です。** **B**ダビデはアビガイルの懇願に応じて、アビガイルを遣わしてダビデに会わせたエホバをほめたたえ、そしてダビデに血を流させることをやめさせた、またダビデ自身の手で自らのために報復することをやめさせたアビガイルをほめたたえました。 **C**アビガイルの美しさと知恵はダビデを捕らえ、ダビデはナバルの死後、彼女を妻にしました。彼女は戦いにおける、ダビデの配偶者となりました。 **I** **ダビデは、苦難のただ中で戦うキリストを予告しています。** **サムエル上25:28** どうか、あなたのはじめの違反を赦してください。エホバは必ずわが主君のために、確かな家を造られます。わが主君はエホバの戦いを戦っておられ、あなたの一生の間、何の悪もあなたの中に見いだされないからです。 **マタイ12:3** **ダビデが、自分も供の者たちも飢えた時に何をしたか、あなたがたは読んだことがないのか？** **B**ダビデが神によって堅く立てられたことは、彼がペリシテ人に対して何度も勝利したことにおいて見られます。こういうわけで、ダビデは戦士であるキリストの予告です。 **C**エホバは、私たちのために戦う戦士、また私たちのすべての敵に対して凱旋の中で勝ち誇る戦士であるので、私たちの凱旋また勝利です。 **D2b**キリストは、ご自身の軍隊であるご自身の花嫁と共に来て、花嫁と共に反キリストと彼の軍隊に敵対して戦います。 **E1**勝利のキリストは彼の地上の務めにおいて、悪魔を打ち破り、悪魔のわざを破壊しました。 **2**勝利のキリストは彼の十字架において、この世の支配者を追い出し、悪魔を滅ぼし、支配たちや権威たちがはぎ取られるようにし、死を廃棄しました。 **3**勝利のキリストの復活は、彼が死に対して勝利を得ていることを宣言します。 **4**勝利のキリストは彼の昇天において、「とりこにされていた者たちをとりことして引いて行き」ました。彼は私たちをサタンの強奪する手から解放して、宇宙の最高の場所へともたらしました。 **5**勝利のキリストは、戦う将軍、戦士として、ご自身の軍隊と共に来て、ハルマゲドンで反キリストと、彼の下にいる王たちと、彼らの軍隊とに対して戦います。 **III** **アビガイルは、苦難のただ中で戦う召会を予告しています。** **A**サムエル記上25章以降、アビガイルは常に、戦士であるダビデのそばにいて、彼の戦いにおいて彼に従いました。 **B**アビガイルの予告は、私たちがキリストの苦難において彼と一である必要があることを描写しています。 **1**キリストの苦しみは、二つの部類から成ります。一つは、贖いを成就するためのものであり、それはキリストご自身によって完成さ

れました。もう一つは、召会を生み出し建造するためのものであり、それは使徒たちと信者たちによって、補い満たされる必要があります。 **2b**召会の奉仕に、あるいは務めにあずかる者たちはすべて、執事の苦しみにあずかる用意ができていなければなりません。この事が意味するのは、私たちが、自分の執事職を果たすのに必要とされる代価は何であれ、進んで支払わなければならないということです。 **C**アビガイルの予告が描写しているのは、召会が主イエスと共に霊的戦いに加わるということです。 **1b**勝利者たちの総合計は、花嫁となって、キリストの配偶者となります。この配偶者はキリストの軍隊となって、ハルマゲドンで反キリストを打ち破ります。 **啓19:11** 私は、天が開かれるのを見た。すると見よ、白い馬と、それに座している「忠信」と「真実」と呼ばれる方がおられた。彼は義の中で裁き、また戦う。 **14** そして天にある軍勢が白い馬に乗り、白くて清い細糸の亜麻布を着て彼に従った。 **15** 彼の口からは鋭い剣が突き出ており、彼はそれをもって諸国民を打つのである。彼は鉄の杖をもって彼らを牧養する。 **2**神の永遠の定められた御旨が成就されて、彼の心の願いが満たされなければならないだけでなく、神の敵が打ち破られなければならない。召会はこのために戦士でなければなりません。 **エペソ6:10** 最後に、主の中で、また彼の力強い大能の中で力づけられなさい。 **11** 神のすべての武器を身に着けなさい。悪魔の策略に敵対して立つことができるためです。 **12** というのは、私たちの格闘は血肉に敵対するものではなく、支配者たちに、権威者たちに、この暗やみの世の主権者たちに、天上にいるあの悪の霊の勢力に、敵対するものだからです。 **3a**霊的戦いは、神聖な意志とサタンの意志との衝突をその源としています。 **4**サタンは、キリストのからだである召会、サタンとサタンの王国に敵対して戦う団体の戦士を恐れています。 **5**キリストは、長年神の敵に敵対して戦ってきた者と結婚します。 **啓19:7**私たちは喜び歓喜し、彼に栄光を帰そう。小羊の婚姻の時が来て、彼の妻は用意を整えたからである。 **13** 彼の名は神の言と呼ばれる。 **IV** **アビガイルの予告が描写しているのは、イエスのそりを担い、営所の外に出て、イエスへと行く信者です。** **A2b**私たちは奥の間、至聖所、ひそかな所で主に触れるとき、シュラムの女のようにすることができます。 **雅6:13** 「帰れ、帰れ、シュラムの女よ...私たちはあなたを見たい。「どうして、あなたがたはシュラムの女を見るのか？ 二つの陣営の踊りを見るように」。 **C**私たちは外側の生活において主のために証し、主のために働くとき、アビガイルが荒野でダビデと共にさすらっているかのようです。

**B2**私たちはシュラムの女とソロモンのように、象牙の宮殿の中にとどまって、内側では主と交わります。またアビガイルのように、ダビデに従って戦うことによって、また苦難を受けることによって、外側では生活し、働きます。**4**内側で、私たちはひそかな所でシュラムの女の享受を持ちます。外側で、私たちはアビガイルの公の生活を持ちます。ヘブル 10:19 こういうわけで、...私たちはイエスの血によって、大胆に至聖所へ入ります。**20** それは、彼が私たちのために、彼の肉体である幕を通して、一つの新しい生きた道を開設してくださったからです。**13:13** ですから、私たちは彼のそりを担い、営所の外に出て、彼へと行こうではありませんか。

**6:19** 私たちが持っているこの望みは、安全で確固とした魂の錨(いかり)であり、幕の内側に入っていくものです。**20** 先駆者イエスは...私たちのために幕の内側に入られたのです。

**CP1** 召会生活の中で兄弟姉妹と交わり、内側で活動するキリストに従ってどのように戦うかを学ぶ

**III** アビガイルは、苦難のただ中で戦う召会を予表しています **A** サムエル記上25章以降、アビガイルは常に、戦士であるダビデのそばにいて、彼の戦いにおいて彼に従いました。**1** アビガイルがダビデと結婚したことは、戦いのために軍隊に加わった召会を予表しています。**2** アビガイルは、神の王国のために苦難のただ中で戦う召会を予表しています。**B** アビガイルの予表は、私たちがキリストの苦難において彼と一である必要があることを描写しています。**1** キリストの苦しみは、二つの部類から成ります。一つは、贖いを成就するためのものであり、それはキリストご自身によって完成されました。もう一つは、召会を生み出し建造するためのものであり、それは使徒たちと信者たちによって、補い満たされる必要があります。**2b** 召会の奉仕に、あるいは務めにあずかる者たちはすべて、執事の苦しみにあずかる用意ができていなければなりません。この事が意味するのは、私たちが、自分の執事職を果たすのに必要とされる代価は何であれ、進んで支払わなければならないということです。

コロサイ1:25でパウロは、「**神の執事職にしたがって、その奉仕者になりました**」と言っています。この執事職は新約における務めです。新約の務めは、すべてを含むキリストの計り知れない豊富を神の家族の人の中へと分与することです。使徒パウロはキリストの豊富を聖徒たちの中へと分与しました。これは、私たちが今日、務めの中で行なっていることです。**1:24**でパウロは言います、「**私は今、あなたがたのために受ける苦難を喜び、そしてキリストのからだなる召会のために、キリストの苦しみの欠け**

**たところを、私の肉体において補い満たしています**」。キリストの豊富を神の王家の人たちの中へと分与することによって神の執事職を遂行することには、どんな苦難があつたとしても(その苦難が大きくても小さくても)、価値があるということです。...私たちがあずかる苦難はキリストのからだの建造のためです。それらは贖いの成就とは何の関係もありません。

召会はキリストにささげられる花嫁と、神の敵に対して神と共に戦う戦士の両方です。主イエスは再び来る時、第一に彼の花嫁に会われます。花嫁を迎えた後、キリストと勝利者たちは、敵との戦いの中に入ります。

**啓19:7** 私たちは喜び歓喜し、彼に栄光を帰そう。小羊の婚姻の時が来て、彼の妻は用意を整えたからである。**13** 彼の名は神の言と呼ばれる。**14** そして天にある軍勢が白い馬に乗り、白くて清い細糸の亜麻布を着て彼に従った。

適用:青少年、大学生、新人編

ダビデと共に戦ったアビガイルは、キリストと共に戦う召会を予表しています。あなたは神の召会のメンバーですので、テスト、受験、資格試験、就職活動などの苦難の中で、強くなって戦ってください。戦うとは、積極的に、前向きに、勤勉に勝利を目指して取り組むことです。

あなたはアビガイルのように、ダビデが予表する主と共に戦うことができる理由は次の通りです:

**① 召会生活** あなたはアビガイルが予表する召会のメンバーです。あなたが召会生活の中で兄弟姉妹と交わりを持つことができるのは素晴らしいことです。この交わりの中で、あなたは信仰によってどのように戦うのかを学ぶことができます。

**② 内住のキリストの活動** コロサイ1:29 私もまた労苦し、私の内で力をもって活動している彼の活動に従って、苦闘しているのです。内住のキリストは活動し、あなたにキリストを経験させ、キリストを他の人に分与させ、キリストのからだを建造させます。**証** 私は救われた後、救われる前の下っていく Going down の生活の原因が、戦わないことにあることが分かりました。私は怠け者で、消極的な性質なので、「戦い」は疲れると考え、「戦い」を避けていました。しかし、その結果は Going down でした。

救われた後、少しずつ主と共に戦うようになりました。最初は、大学の合気道のクラブ活動で主と共に頑張ることができました。私は運動神経が鈍いので運動が苦手でしたが、主と共に戦っていると、上達できました。その時、ある重要なことに気付きました。それは、「他の人に比べると運動を学ぶのに多くの時間がかかるが、時間をかけると他

の人と同じように、あるいはそれ以上にできる」ということでした。以前は、他の人のように直ぐに上達できないので、あきらめていました。しかし、今は主が共にいるので、もう少し忍耐して頑張ることができ、突破できるようになりました。目の前のできない状況を見て、ずっとできないと考えて、あきらめていた自分の問題に気付きました。そして主にある信仰のゆえに、今は少し頑張れている自分を見出し、主に感謝し、喜びで満たされました。そして、私の信仰は大いに強められました。

この後、福音を伝えることで主と共に戦いました。そして、驚いたことに多くの人々が救われました。その後、苦手意識の強かった薬学の勉強においても主と共に、主の証のために労苦し、戦うようになりました。大学院の受験勉強と大学院の研究で、主を理解力、知恵、忍耐力、突破力として経験することができました。主に感謝します。

**祈り** おお主イエスよ、アビガイルがダビデと共に戦ったように、召会のメンバーである私はキリストと共に戦うことができます。戦わないことはGoing downの生活をもたらしてしまいます。テスト、受験、資格試験、就職活動などの苦難の中で、強くなって主と共に戦います。そのために召会生活の中で兄弟姉妹と交わりを持ち、私の内で力をもって活動している彼の活動に従って、苦闘します。

**CP2** 戦う前に主と親密に交わり、復活の力によって十字架を経験し、忍耐して最後まで戦い続ける

**V** アビガイルの予表が描写しているのは、イエスのそりを担い、営所の外に出て、イエスへと行く信者です。**A2b** 私たちは奥の間、至聖所、ひそかな所で主に触れるとき、シュラムの女のようにすることができます。**雅6:13** 「帰れ、帰れ、シュラムの女よ。...私たちはあなたを見たい」。「どうして、あなたがたはシュラムの女を見るのか？ 二つの陣営の踊りを見るように」。**FN: 二つの陣営** ここでシュラムの女は、勝利を祝賀して踊っている二つの軍隊、あるいは陣営に例えられます。ヤコブは神の御使いと会った後、自分の妻たち、子供たち、その他の所有を二つの陣営、あるいは「二つの軍隊」に分けました。二つの軍隊としての二つの陣営の霊的意義は、私たちが勝ち得てあまりがあるということです。...神は自分自身の中で強い者を欲しません。彼はただ脆弱(ぜいじゃく)な者、弱い者、女と子供を欲しています。彼らが彼らの軍隊となることのできるのは、戦いが彼らの手にではなく、彼の御手にあるからです。...数えられて勝利者となるのにふさわしい人は、弱い、主に依り頼む者です。**B2** 私たちはシュラムの女とソロモンのように、象牙の宮殿の中にとどまって、内側では主と交わります。またアビ

ガイルのように、ダビデに従って戦うことによって、また苦難を受けることによって、外側では生活し、働きます。**4** 内側で、私たちはひそかな所でシュラムの女の享受を持ちます。外側で、私たちはアビガイルの公の生活を持ちます。**C** キリストにある信者は、幕の内側、交わりの奥の間から出て来るとき、十字架の道を取り、苦難を受けたイエスに従って行くことができます。**へブル10:19** こういうわけで、...私たちはイエスの血によって、大胆に至聖所へ入ります。**20** それは、彼が私たちのために、彼の肉体である幕を通して、一つの新しい生きた道を開設してくださったからです。**13:13** ですから、私たちは彼のそりを担い、営所の外に出て、彼へと行くではありませんか。**6:19** 私たちが持っているこの望みは、安全で確固とした魂の錨(いかり)であり、幕の内側に入っていくものです。**20** 先駆者イエスは...私たちのために幕の内側に入られたのです。

私たちは毎日、これら二つの面を経験します。一方で、私たちはシュラムの女のように幕の内側にいて、至聖所の中で生活し、復活し栄光を現したキリストを享受します。もう一方で、私たちはアビガイルのように営所の外にいて、この世の中で生活し、へりくだったイエスに従って行きます。

私たちは外側で、ナザレ人イエスと同じような狭い道を歩いています。それにもかかわらず、人々が私たちを煩わせ、迫害し、反対し、悩ませるとき、私たちは内側で、復活したキリストを享受します。**ピリピ3:10**は言います、「キリストと彼の復活の力と彼の苦難の交わりとを知り、彼の死に同形化されて」。キリストに関する限り、彼はまず苦難を経験し、それから復活を経験されました。私たちに関する限り、私たちは復活に触れ、それから苦難を経験します。彼は死に、それから復活されましたが、私たちは復活し、それから死にます。だれも一人で十字架の道を取ることはできません。まただれも一人でナザレ人イエスの足跡に従って行くことはできません。人が内側で復活したキリストに触れ、接触してはじめて、また復活したキリストが彼の中へと入ってはじめて、次のように言うことができます、「生きているのはもはや私ではありません。キリストが私の中に生きておられるのです」(ガラテヤ2:20)。

**適用: ビジネスパーソン、大学院生編**

主と共に戦う前に、内側でシュラムの女のように、営所である宗教観念から出て、主と親密な交わりの中で主を享受するべきです。そうすれば主に従って出て行き、霊的な戦いを戦うことができます。神のエコノミーは、私たちが主に来て、主を享受し、主を表現し、主の命の中で、神のエコノミーのために、すべての人、事、物を支配すること

## 【神戸に在る召会交わりと報告】

です。従って、召会の中で奉仕する前に、または仕事を始める前に、先ず内側で主に来て、主と親密に交わり、主の愛に触れ、主で満たされるべきです。そうすれば、主の中で、主と共に、主の証のために、奉仕や仕事に、取り組むことができます。

**証** 米国本社で本社役員と重要な三日間の会議をしていた時、私の上司である本社のVPの理解を得ることができず大混乱のまま終わってしまい、耐え難い状態でした。この状態を放置すると、すべてのprojectの推進に大きな妨げができてしまうと考えられました。私は主と十分な時間を使って交わってから会議に参加したのに、結果上手いかず大変失望しました。しかし、会議後の帰り道で、このVPの上司であるSr.VPと個別に7～8分話す機会がありました。私はこの機会を捕らえて、会社の権益と多くの部下たちのために、再度説明するべきであると感じたので、信仰によって進取的になり、彼と話しました。私は慎重に言葉を選びながらも、率直に私の懸念を伝えました(通常上司の上司に、上司に関する懸念を伝えることはできません。私は最悪の場合、会社を辞めなければならないことを覚悟で話したので)。彼は私の話を良く聞いてくださいました。私は自分のベストを尽くせたので、平安を回復することができ、主に信頼し状況を主に委ねました。

驚いたことに、主はこの短い会話をういてくださり、しばらくして私の米国の上司は、別のSr.VPに変更になりました(後で分かりましたが、元の上司は自ら退きました。聖霊の働きがなければあり得ないことです)。そして、新しい上司の理解と強力なサポートの下で、私は多くのProjectを成功させることができました。私が保守的になり、進取的にSr.VPと話さなかったなら、上司の変更はありませんでした。そうであれば、多くのProjectを効果的に成功させることは決してできませんでした。

私がこの事で学んだのは、**①** 会議の前に主と個人的に良く交わり、主の愛に触れ、復活の命によって十字架を経験し、主に内側で生きていただくこと、**②** 会議が表面上、うまく行っていないくても、主との密かな交わりによって得た復活の力によって、忍耐し最後まで戦い続けることです。マタイ24:13 しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われる。

**祈り** おお主イエスよ、召会の中で奉仕する前に、また仕事を始める前に、先ず内側で主に来て、主と親密に交わり、主の愛に触れ、主を享受します。そうすれば主に従って出て行き、霊的な戦いを戦うことができます。内側の感覚に聞き従い、信仰によって進取的になります。苦難に遭うとき、内側で、復活したキリストを享受し、彼の死に同形化され、最後まで忍耐して戦い続けることを学びます。

### 1. 姉妹集会:

18(水)の姉妹集会は、リジョイスガーデンを掃除しに行きます。

各集会所9:30出発、昼食後下山します。

### 2. 関西責任者・奉仕者ブレンディング集会:

28(土)10:00-11:00@本山

Zoom参加も可能です。

【Zoom ID】 374 864 5537 PW 3131

### 3. 主日集会の余力B参加場所について:

1週目 神戸-三宮

2週目 六甲-魚崎

3週目 本山A-夙川

4週目 本山B-YP

(5週目 六甲-三宮)

### 4. 祈り集会:

祈り集会の前半は、福音主日集會を担当する所に余力Bが来られます。

### 5. メモリアルデー特別集会:

6/3(金)19:00～ M1

6/4(土)10:00～ M2, 19:00～ M3

6/5(主)10:00～ M4, 19:00～ M5

6/6(月)19:00～ M6

【Zoom ID】:

日・英: 851 2479 8841

中: 817 1263 4385

手話: 564 343 1436

※パスワードは共通で31です。

### 6. 姉妹特別集会:

6/17(金)10:00-12:00 集会1

13:30-15:30 集会2

6/18(土)10:00-12:00 集会3

### 7. リー全集通読:

毎週月～金9:30-10:00, 21:30-22:00

毎週土 7:30-8:00

### 8. 聖書通読: 今週は通読表の21週目です。